東金市立西中学校　第３学年

羅針盤
－進路だより－

第１３号
令和８年９月２５日発行

夏の学校見学報告書の裏面には、「第１志望の学校を選んだ理由」と「いま迷っていること・悩んでいること」を書いてもらいました。今号では、提出された内容をまとめ、２ページ目で多く寄せられた質問にお答えします。（個人が特定されないよう、表現を一部変えて紹介しています）

■ 第１志望の学校を選んだ理由　－ 回答・複数回答 －

順位	理由	人数	生徒の声（一部）
１位	部活動	２６	・「勉強と部活動の両方に打ち込める」「入りたい部活がある」
２位	学校の雰囲気	２４	・「見学で雰囲気が明るく楽しそうだった」「生徒に落ち着きがある」
３位	通学のしやすさ	２３	・「自転車で通える」「駅から近い」「電車やバスを使わずに通える」
４位	進学実績	２１	・「大学進学に有利」「１・２年生のころから目標にしていた」
５位	自分の学力に合っている	１７	・「自分の学力に一番合っていると思った」
６位	学びたいこと・資格	１３	・「資格がとれ、就職につながる」「将来の夢に近づける学科がある」
７位	先生・サポート体制	８	・「一人ひとりに合わせた丁寧な授業」「先生方が親切だった」

◆ 報告書から見えてきたこと

・「実際に見に行って感じた雰囲気」を理由にあげた人が２４人いました。ホームページやパンフレットだけではわからないことが、見学でわかります。
・「家から近い」「学力に合う」など、理由は人それぞれです。やりたいことがまだはっきりしていなくても、学校を選ぶ理由はたくさんあります。

■ いま迷っていること・悩んでいること

内容	人数	生徒・保護者の声（一部）
どの学校にするか迷っている	１３	・「第１志望と第２志望のどちらにするか」 ・「通いやすい学校か、行きたい学校か」「普通科か、資格のとれる学科か」 ・「見学できたのが１校だけで、まだ決められない」「全日制か通信制か」
学力が足りるか・合格できるか	１３	・「高校に入れるか不安」「学力が足りないのに、目指してもいいのか」 ・「自分が入れそうな高校がわからない」「自分に合った勉強法がわからない」
私立・推薦のこと	１０	・「推薦で受けられるか」「公立だけの受験で大丈夫か」 ・「併願推薦の私立は、どこがよいか」「私立に続けたい部活がない」
通学・生活のこと	３	・「電車通学になったときの交通費」「朝きちんと起きて登校できるか」
保護者の方から	－	・「学習面が心配」「今の成績で希望の高校を目指せるか」「費用のこと」 ・「説明会に参加できなかった」「私立の見学にまだ行けていない」 ・「併願推薦の入学金や、評定の基準が知りたい」「本人のやりたいことがまだ見つからない」

※「特になし」「空欄」の人も多くいました。書けなかった悩みも、面談や日ごろの会話の中で遠慮なく相談してください。

■ Q＆A　－ 報告書に寄せられた質問にお答えします －

Q１　公立だけの受験で大丈夫？

大丈夫かどうかは正直わかりません。千葉県の公立高校入試は、原則２月の一般入学者選抜の１回です。もし不合格の場合、２次募集を探すことになりますが、希望の学校で２次募集を行うとは限りません。中学校ではそのような理由から、進路の幅を広げておくために、私立高校の受験を勧めています。

Q２　私立の「推薦」とは？どうすれば受けられる？

・単願推薦…その私立が第１志望。合格したら入学します。
・併願推薦…公立などが第１志望。私立は万一のそなえです。
どちらも中学校長の推薦が必要で、高校ごとの基準（評定・欠席など）を満たすことが条件です。１２月に中学校と高校で「入試相談」をしてから出願します。
※千葉県の公立高校には推薦入試はありません。

Q３　推薦基準の「評定」は、いつの成績で見られる？

多くの私立高校では、３年１、２学期の通知表の評定が使われます。今の時点で基準に届いていなくても、２学期の頑張り次第で届く可能性があります。英検などの資格や部活動で加点がある学校もあります。基準は学校・コースごとに違うので、今年度の要項で確認してください（調べ方は第１１号）。

Q４　併願推薦で合格し、公立に進む場合も入学金は必要？

多くの私立には、私立の合格発表後、公立の合格発表まで入学金などの支払いを待ってもらえる「延納制度」があります。その際延納金を支払うことで、その権利を得ることができます。一時金の有無も含め、募集要項の「延納」「入学手続」の欄で確認するか、個別相談会で質問してください。

Q５　説明会に行けなかった。見学はまだ間に合う？

間に合います。公立・私立とも、秋から１２月にかけて説明会や個別相談会を開く学校が多くあります。多くの公立高校では、日程を相談して見学できる「随時見学」も受け付けています（学校へ直接電話で申し込み）。複数の高校が集まる合同相談会もあります。日程は各高校のホームページで確認してください。

Q６　普通科か、資格のとれる学科かで迷っています

商業科などでは、在学中に簿記や情報処理などの検定をとることができ、就職試験や、専門学校・大学の推薦入試でアピールできます。一方、普通科からも就職・進学どちらの道もあります。「卒業後は就職か進学か」「どんな勉強をしてみたいか」を考えると選びやすくなります。見学で授業を体験したり、卒業後の進路を確認するのもおすすめです。

Q７　今の学力で届く？公立志望校を変える目安は？

一概に「この点数だったら志望校を変える」といった目安はありません。公立高校の入試は、内申点と当日のテストの点で総合的に判断されます。また、倍率によっても変わってくることがあります。ただし、高校に合格することがゴールではなく、その学校に進学することで、将来、自分のやりたいことに近づけるかどうかが判断の基準になると思います。もちろんテストの点数の割合が多くを占めるため、点数とご自身の内申点を合わせて、志望校に届くか１０～１２月の面談で、一緒に考えていく予定です。また、公立高校は、志願変更が１度だけ可能です。倍率を見て、最終的には各御家庭で判断していただくことになります。

Q８　学力が伸びるか不安。効果的な勉強方法は？

・人によって効果的な勉強方法は、様々なため、これをやっておけば大丈夫といった勉強方法はわかりません。ですが、まずは「量」が大事です。とにかくわからないところを、わかるまで繰り返しやることが大事です。
・ちなみに先日、私自身も資格の勉強をする機会がありました。そのときに効果的だと感じたのは、まず最初に過去の問題を解いてみることです。最初はわからない問題が多くても大丈夫です。まずは過去問を解いて、「どんな問題が出るのか」「どのような知識が必要なのか」を知ることが大切です。
その後、過去問に答えられるようになることを意識しながら、練習問題を繰り返し解いて知識を身につけていきます。一通り練習問題が終わったら、もう一度過去問に挑戦します。
そこでわからなかった問題や間違えた問題があれば、その部分を復習します。そして、また過去問を解く。この「過去問を解く→わからなかったところを復習する」という繰り返しが、自分には、効果的な勉強方法だと思いました。

Q９　併願推薦の私立は、どう選べばいい？

第１志望に届かなかったとき、３年間通う学校になります。次の点を比べて選びましょう。
・推薦基準に届きそうか（評定・欠席）
・通える距離か、通学時間はどれくらいか
・コースや部活動、雰囲気が自分に合うか
・費用と「延納制度」の有無
１０月の面談で、御家庭の希望を担任が確認します。

Q１０　電車・バス通学の交通費が心配です

通学定期券を使うと、ふつうの運賃より安くなります。駅やバス会社で「通学定期」の料金を調べてみましょう。見学のときに、登校する時間帯の電車・バスで行ってみると、時間も費用もイメージしやすくなります。もしくは、自転車を組み合わせると、費用が抑えられると思います。メインを自転車通学にして、天気の悪い日などは電車・バスを使うだけで、交通費が変わってくるのではないでしょうか？

Q１１　全日制か、通信制かで迷っています

通信制高校も、進路の選択肢のひとつです。登校日数（年に数日～週５日など）、学費、勉強のサポートの内容が学校によって大きく違います。パンフレットだけで決めず、実際に見学・相談をして比べてみてください。

Q１２　高校の費用が心配です

授業料には、公立・私立とも国の「高等学校等就学支援金」があります（費用の目安は第５号でお知らせしました）。ただし入学金、制服、教材費、通学費などは別にかかり、私立は学校によって金額が大きく違います。募集要項や個別相談会で確認し、心配なことは担任・進路担当へご相談ください。

□ ご家庭へ

□　「やりたいことがまだ決まっていない」のは、この時期の中学３年生にとってめずらしいことではありません。「通いやすさ」「雰囲気」「学力に合うか」も、学校を選ぶ理由の一つとなると思います。
□　１０月末の面談では、志望校と私立高校の推薦希望の有無を伺います。それまでにご家庭で話し合っておいてください。

質問・相談などありましたら、進路担当　深澤まで